

# 第2回フレイル予防推進会議総会・ シンポジウム

## 資 料

2024年11月22日（金）  
13時00分～16時00分  
於： 全社協・灘尾ホール

主 催 フレイル予防推進会議  
一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会



## 【プログラム】

### 第1部 第2回フレイル予防推進会議総会

時間	内容
13:00~13:09	開会宣言 辻 哲夫 氏 (フレイル予防推進会議 事務局長/ 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長)
	会長挨拶 黒岩 祐治 氏 (フレイル予防推進会議 会長/神奈川県知事)
13:09~13:55	議事 (1) フレイル予防推進会議設置以降の活動報告について (2) 今後のフレイル予防啓発方針の決定について (3) フレイル予防啓発推進への抱負について
13:55	閉会

### 第2部 シンポジウム

#### 「住民主体によるフレイル予防のポピュレーションアプローチに向けての新しい取組」

時間	内容
14:10~14:20	開会挨拶 川名 勝義 氏 (フレイル予防推進会議 実行委員長/神奈川県 福祉子どもみらい局 局長)
	座長趣旨説明 飯島 勝矢 氏 (東京大学 高齢社会総合研究機構長/未来ビジョン研究センター 教授)
14:20~15:20	[ショートレクチャー] i. 住民主体での質問・計測を通じたフレイル予防啓発活動 小松 仁視 氏(NPO 法人フレイルサポート仁淀川 理事) 山中 喜郎 氏・山崎 幸彦 氏(仁淀川町フレイルサポーター) 成田 慎一 氏 (公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 共生社会推進部 部長) ii. 「集いの場」等の住民主体の活動を通じた介護予防のまちづくり 田中 明美 氏(生駒市 特命監) 宿 美代子氏(わくわく教室 in 鹿ノ台 代表) iii. 企業によるフレイル予防の推進と認証事業の試み 乾 裕之 氏(イオン株式会社 生活圏推進チーム) iv. フレイル予防ポピュレーションアプローチ推進のための情報システムの開発に向けて 岡本 茂雄 氏(国立研究開発法人産業技術総合研究所 招聘研究員)
15:20~15:50	[パネルディスカッション] 座長 飯島 勝矢 氏 ショートレクチャー演者 久木 邦彦 氏(イオン株式会社 顧問) / 川名 勝義 氏 等

※諸事情により演者等が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



# 第 1 部

## 第 2 回フレイル予防推進会議 総 会



## 第2回フレイル予防推進会議総会議事次第

日時： 令和6年11月22日（金） 13時～13時55分（開場 12：30）  
形式： ハイブリッド（会場／zoomによるオンライン）  
会場： 全国社会福祉協議会／全社協・灘尾ホール（新霞が関ビル内）  
プログラム：

1. 開会
2. フレイル予防推進会議会長挨拶
3. 議事（1）フレイル予防推進会議設置以降の活動報告について【別添1】
4. 議事（2）今後のフレイル予防啓発方針の決定について【別添2】
5. 議事（3）フレイル予防啓発推進への抱負について【別添3】
6. 閉会

\* 総会終了後、14時10分～16時まで同会場にてシンポジウムを開催

1

## 第2回フレイル予防推進会議総会資料

- 【別添1】 フレイル予防会議のこれまでの経過概要
- 【別添2】 フレイル予防のポピュレーションアプローチの啓発方針について
- 【別紙①】 フレイル予防住民啓発パンフレット  
フレイル予防住民啓発パンフレット説明問答集
- 【別紙②】 フレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者  
用基本問答集
- 【別添3】 フレイル予防推進会議構成員 本人参加メッセージ発言者
- 【参考資料1】 会場配置状況
- 【参考資料2】 第2回フレイル予防推進会議総会・シンポジウムのご案内
- 【参考資料3】 第1回産業部会資料一式

2

## 【別添1】フレイル予防推進会議のこれまでの経過概要（1）

- 令和4年12月1日 「フレイル予防のポピュレーションアプローチに関する声明と提言」  
（フレイル予防啓発に関する有識者委員会：葛谷雅文委員長）
- 令和5年9月8日 フレイル予防推進会議準備会（2県6市町村・第1回～第5回）  
—令和6年7月12日
- 令和6年7月24日 第1回フレイル予防推進会議総会及び第1回実行委員会開催  
—総会で住民啓発用パンフレット（案）及び住民啓発用パンフレット説明問答集（案）  
の了承と第2回総会での正式決定及びその普及活動の方針決定をする旨合意。実行委員会で、  
ポピュレーションアプローチの推進に関する担当者向け基本問答集（案）の公表
- 令和6年8月27日 第2回実行委員会開催  
—第2回総会に向けての諸手順につき審議了解
- 令和6年10月18日 第1回アドバイザー委員会（葛谷雅文委員長）開催  
—構成員の意見を踏まえたパンフレット（案）及び説明問答集（案）につき審議  
し、答申手続きにつき委員長に一任

3

## 【別添1】フレイル予防推進会議のこれまでの経過概要（2）

- 令和6年11月5日 第1回行政部会合同作業委員会  
—第2回総会以降のフレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する活動の当  
面の要点（フレイル予防政策に関するアンケート調査など）につき作業方針の確認
- 令和6年11月6日 第3回実行委員会  
—フレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者用基本問答集の確定  
—第2回総会及びシンポジウムの開催等につき方針確認
- 令和6年11月7日 アドバイザー委員会監修の答申  
—パンフレット及び説明問答集の監修に関する答申
- 令和6年11月12日 第1回産業部会  
—フレイル予防サービス振興会（仮称）及び認証サービス制度の導入について検討
- 令和6年11月13日 全構成員に対する事前調整  
—フレイル予防啓発宣言決定の事前確認
- 令和6年11月22日 第2回総会開催

4

## 【別添2】フレイル予防のポピュレーションアプローチの啓発方針について

### 1. 提案理由

専門有識者により監修された最新の知見に基づいた共通の資料を基に、全国各地においてフレイル予防のポピュレーションアプローチを適正かつ円滑に推進するため、「フレイル予防啓発宣言」を行う必要がある。

### 2. フレイル予防啓発宣言

本日ここに、「フレイル予防住民啓発パンフレット」及び「フレイル予防住民啓発パンフレット説明問答集」を決定し、これらに基づき、フレイル予防のポピュレーションアプローチが全国各方面で展開されることを目指し一体となってフレイル予防の普及啓発活動を推進することを宣言する。【別紙①及び別紙②を参照】

5

#### 【別紙①】

- ・フレイル予防住民啓発パンフレット（別添参照）
- ・フレイル予防住民啓発パンフレット説明問答集（別添参照）

#### 【別紙②】

- ・フレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者用基本問答集（別添参照）

6

### 【別添3】 フレイル予防推進会議構成員 メッセージ発言者

(敬称略)

2024.11.11現在

カテゴリ	所属	役職	氏名	会場	オンライン	ビデオ
都道府県	神奈川県	知事	黒岩 祐治	○		
	徳島県	知事	後藤田 正純			○
	高知県	知事	濱田 省司			○
市町村	宮城県仙台市	市長	郡 和子		○	
	茨城県常陸太田市	市長	宮田 達夫	○		
	埼玉県春日部市	市長	岩谷 一弘			○
	埼玉県富士見市	市長	星野 光弘	○		
	埼玉県鶴ヶ島市	市長	齊藤 芳久		○	
	千葉県茂原市	市長	市原 淳		○	
	千葉県市原市	市長	小出 譲治	○		
	東京都文京区	区長	成澤 廣修			○
	東京都西東京市	市長	池澤 隆史	○		
	神奈川県平塚市	市長	落合 克宏		○	
	神奈川県海老名市	市長	内野 優		○	
	岐阜県神戸町	町長	藤井 弘之	○		
	岐阜県輪之内町	町長	朝倉 和仁	○		
	岐阜県安八町	町長	岡田 立	○		
	奈良県生駒市	市長	小紫 雅史	○		
	鳥取県境港市	市長	伊達 憲太郎		○	
	徳島県那賀町	町長	橋本 浩志	○		
	高知県仁淀川町	町長	古味 実		○	
	高知県大豊町	町長	大石 雅夫			○
	福岡県飯塚市	市長	武井 政一			○
沖縄県北中城村	村長	比嘉 孝則		○		
企業	イオン株式会社	代表執行役社長	吉田 昭夫	渡邊副社長		
	キューピー株式会社	代表取締役 社長執行役員	高宮 満		○	
	株式会社マルタマフーズ	代表取締役社長	服部 太郎	○		

<発言者数> 26名

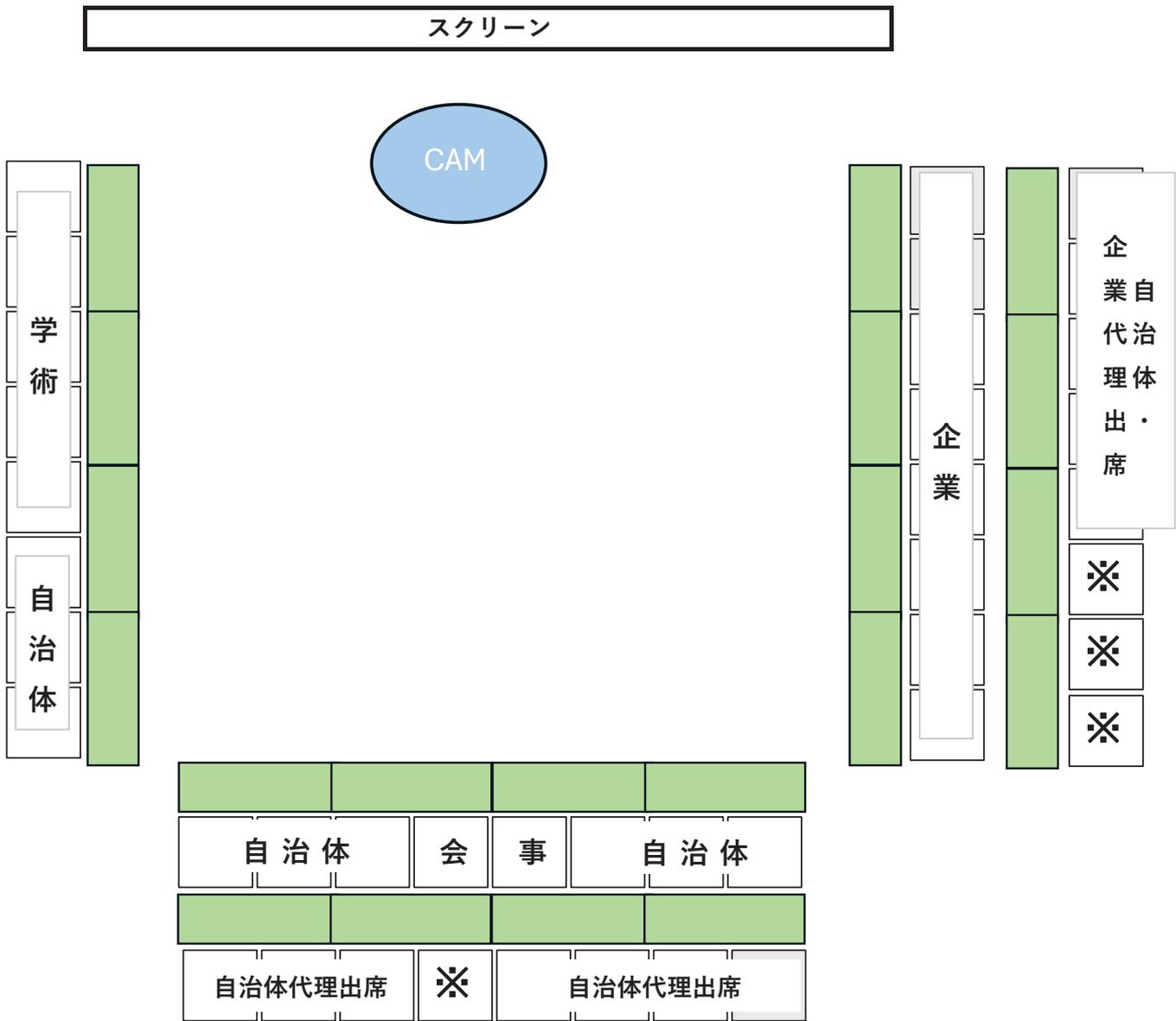
【黒岩知事】1人

【高知県知事】1人(ビデオ)

【会場】自治体9人、企業2人

【オンライン】自治体:8人 企業:1人

【ビデオ】5人(徳島県、春日部市、文京区、大豊町、飯塚市)



【会長・事務局長】（敬称略）

会 神奈川県 知事 黒岩 祐治（フレイル予防推進会議会長）

事 （一財）医療経済研究・社会保険福祉協会 理事長 辻 哲夫（フレイル予防推進会議事務局長）

※ 秘書役御席

## 第2回フレイル予防推進会議総会・シンポジウムのご案内

「フレイル予防のポピュレーションアプローチに関する声明と提言」で提案されたフレイル予防推進会議が令和6年7月24日に設置されました。ついては、11月22日に二部形式で、フレイル予防に関する公開イベント（一般傍聴無料）を開催いたします。第一部の第2回フレイル予防推進会議総会では、フレイル予防のポピュレーションアプローチの啓発内容の対外的な発信を決定いたします。続く、第二部のシンポジウムでは、その啓発内容を今後普及させるため、多様なフレイル予防啓発活動について論じていきます。

日時：令和6年11月22日（金）13:00~16:00（開場 12:30）

形式：ハイブリッド（会場/Zoomによるオンライン）

会場：全国社会福祉協議会/全社協・灘尾ホール（新霞が関ビル内）  
（〒100-8980 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル1F）

内容：〔第一部〕13:00~13:55 第2回フレイル予防推進会議総会（予定）

1. 挨拶

黒岩 祐治 氏（フレイル予防推進会議会長 神奈川県知事）

2. 議事

（1）フレイル予防推進会議設置以降の活動報告について

（2）今後のフレイル予防啓発方針の決定について

（3）フレイル予防啓発推進への抱負について

— 休憩 —

〔第二部〕14:10~16:00 シンポジウム

【テーマ】

住民主体によるフレイル予防のポピュレーションアプローチに向けての新しい取組

【プログラム】

1. 挨拶

川名 勝義 氏（フレイル予防推進会議実行委員長 神奈川県 福祉子どもみらい局 局長）

2. 趣旨説明

飯島 勝矢 氏（東京大学 高齢社会総合研究機構長 未来ビジョン研究センター 教授）

3. ショートレクチャー

i 住民主体での質問・計測を通じたフレイル予防啓発活動

小松 仁視 氏（NPO 法人フレイルサポート仁淀川 理事）

山中喜郎氏・山崎幸彦氏（仁淀川町フレイルサポーター）

成田 慎一 氏（公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 共生社会推進部 部長）

ii 「集いの場」等の住民主体の活動を通じた介護予防のまちづくり

田中 明美 氏（生駒市 特命監）

宿 美代子氏（わくわく教室 in 鹿ノ台代表）

iii 企業によるフレイル予防の推進と認証事業の試み

乾 裕之 氏（イオン株式会社 生活圏推進チーム）

iv フレイル予防ポピュレーションアプローチ推進のための情報システムの開発

岡本 茂雄 氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所 招聘研究員）

4. パネルディスカッション

座長 飯島 勝矢 氏

ショートレクチャー演者

久木 邦彦 氏（イオン株式会社 顧問） / 川名 勝義 氏 等

※諸事情により演者等が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 第1回産業部会議事次第

令和6年11月12日  
オンライン会議

1. 開会（事務局）
2. 会長選出及び会長挨拶
3. フレイル予防推進会議産業部会としての活動方針について（事務局）【資料1、2】
4. 質疑
5. 総括
6. 閉会（事務局・次回予定説明を含む）

1

### 【資料1】フレイル予防推進会議産業部会としての活動方針について

#### 1. フレイル予防推進のための産業側の推進組織について

##### （1）産業側推進組織の検討

第2回フレイル予防推進会議総会によりフレイル予防のポピュレーションアプローチ推進のための広報啓発方針が決定されたことに伴い、産業側としてこれを推進するための組織（フレイル予防サービス振興会（仮称））を設立することを検討する。

##### （2）推進組織設立に向けての検討事項

###### ①位置づけ

フレイル予防推進会議で決定されたフレイル予防の広報啓発方針に沿った産業側の活動を推進することに賛同した産業により構成する一般社団法人とすること

###### ②目的

フレイル予防のポピュレーションに関する行政の方針に沿い、民間産業の創意工夫と活力を活かし、フレイル予防に資する産業活動を推進すること

2

### ③事業

- i) フレイル予防のポピュレーションアプローチ（以下単に「フレイル予防」という。）の啓発事業
- ii) フレイル予防に資する産業活動の開発に関する知見の収集と活用に関する事業
- iii) 民間自主認証事業の実施等フレイル予防の推進に資する事業【資料2】
- iv) その他フレイル予防に資する産業活動の推進のための事業

### (3) 今後のスケジュール

産業部会所属のフレイル予防推進会議構成員が中心となって令和7年度の設立と事業開始を目指す。

## 2. 産業側の広報啓発活動について

第2回フレイル予防推進会議総会後の公開を想定し、構成員各社は、下記の例を参考とし、フレイル予防啓発の広報を開始する。

### 【例示】

ニュースリリースの内容（案）

-タイトル「キューピーはフレイル予防推進会議へ参画します」

-内容：①フレイル予防推進会議の概要

②産業部会の役割（フレイル予防の産業側の推進組織として、フレイル予防サービス振興会（仮称）を設立及びフレイル予防に資するサービスの提供を目指す認証制度等の準備を進めている）

③各社のフレイル予防の取り組み紹介（自社のHP等紹介）

## 【資料2】民間自主認証事業についての検討状況

### I. これまでの経過

これまで13社と東京大学高齢社会総合研究機構との共同研究体制（食の在り方研究会）の下で行ってきた下記の検討を、フレイル予防推進会議の下での産業部会の活動に活かし、民間自主認証事業の導入を目指すこととしている。

- (1) ①栄養（食事・口腔） ②身体活動 ③社会参加 の包括的なフレイル予防の取り組みの啓発を行うことを基本前提とする。
- (2) フレイル予防に資するエビデンスを満たす業態の基準を作成し、認証する（現在四つの業態を検討中）。
- (3) 業界団体（フレイル予防サービス振興会（仮称））の下で認証事業を運営する
- (4) 先ず栄養に着目した業界自主ガイドライン（A業態）を策定し、認証事業を導入し、順次分野の拡大を目指す

### II. 検討中4つの業態

- A) **小売業と食品製造業**が緊密に連携し、三本柱のフレイル予防の啓発を行いつつ、フレイル予防の栄養に関するエビデンスを満たした食事に資する食品（好ましい食事の組み合わせを推奨したレシピを含む）を**販売**するA業態
- B) 三本柱のフレイル予防の啓発を行いつつ、フレイル予防に資するエビデンスを満たした**食事の提供等を行う**B業態（当面、栄養の柱を起点とする共食支援サービスの業態の開発を検討し、次は運動の柱を起点とするサービスの業態に取り組む方針）
- C) 三本柱のフレイル予防の啓発を行うことを前提とするフレイル予防に資するサービスの開発に関する**コンサルテーション**を行うC業態
- D) フレイル及びフレイルに関連する**諸データの収集、解析**等を行うことにより、フレイル予防を促進する情報サービスを提供するD業態

#### 【食の在り方研究会メンバー企業（フレイル予防推進会議構成員）】

イオン(株)、伊藤ハム(株)、キュービー(株)、(株)ニチレイフーズ、日清オイログループ(株)、(株)ニッスイ、はごろもフーズ(株)、フジッコ(株)、(株)マルタマフーズ、(株)明治、(株)ロッテ



## 第 2 部

### シンポジウム

「住民主体によるフレイル予防の  
ポピュレーションアプローチに向けての  
新しい取組」



## 【ショートレクチャー】

- i. 住民主体での質問・計測を通じたフレイル  
予防啓発活動

小松 仁視 氏

NPO 法人フレイルサポート仁淀川 理事

山中 喜郎 氏

山崎 幸彦 氏

仁淀川町フレイルサポーター



『どうでもよいと思うたら、いかん！  
自分を奮い立たさないかん！』

～住民主体での質問・計測を通したフレイル予防啓発活動～

高知県仁淀川町



NPO法人フレイルサポート仁淀川  
山中喜郎 ・ 山崎幸彦 ・ 小松仁視

2019年  
7月

## 住民主体のフレイルチェック（東大方式 22項目）を導入

学ぶ

- ・フレイルチェックを重ねるごとに、「フレイルの概念」の理解が加速的に深まる
- ・ボランティアをしているつもりが、何より自身のためであったことを実感

目覚める

- ・学ぶことが楽しくなり、学び続けることに意欲的になる
- ・もう一度、社会が広がる
- ・フレイルが自分事化でき、「まち」のフレイルも自分事化となる

挑戦

- ・気づいて、言葉にして、みんなで知恵を出し合う雰囲気が醸成される
- ・現在から人生の最終段階まで「心積もり」ノートを学び、「終活」から「老活」へ意識を変える

確信

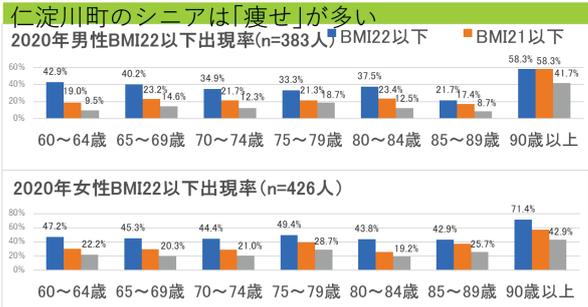
- ・『短期集中型フレイル予防総合プログラム（ハツラッツ）』誕生
- ・「年のせい」にして諦めなければ、まだまだ可能性（伸びしろ）はあることを知る

奮起

- ・励まし合い・助け合い・笑って前を向けば、未来は変えられることを信じる
- ・長生きを心から喜び合える町、帰ってきたくなる町、暮らし続けたい町にしよう！

# みんなで 気づき・学び・考え・実践

## フレイルチェックをしながら地域特性に気づく



## フレイルの風が吹き、ハツラツツが誕生



## 75歳・男性 仲間の変化に気づく

総合健診【過去5年】

総合健診	20170512	20180511	20191008	20200702	20210514
BMI	19.8	19.9	19.1	18.8	19.2
血圧(収縮期)	146	162	139	136	140
血圧(拡張期)	95	95	88	86	91
尿酸	6.3	5.5	5.3	5.3	5.8
HbA1c	5.0%	5.0%	5.1%	5.2%	5.1%
中性脂肪	59	77	54	51	51
HDLコレステロール	63	68	65	66	67
LDLコレステロール	127	134	129	123	121
GOT	21	25	21	22	20
GPT	13	16	14	17	15
γ-GTP	28	29	24	31	27
クレアチニン	0.97	0.97	0.91	0.93	0.97
e-GFR					57.9

## フレイルチェック【過去1年半】

チェック日	年齢	赤の数	指輪つか	栄養1	栄養2	口腔3	口腔4	運動5	運動6	社会7	社会8	社会9	社会10	社会11	噛む力	立ち上がり	ふくらみ	歩力	手足の握力	総筋力	体幹筋力	手足	人とのつながり	組織参加	支え合い					
2019 0701	73	6	青	青	青	青	青	赤	赤	青	青	青	青	青	強い	6.4	6.4	赤	赤	35.0	23.5	赤	45.00	25.10	6.80	25	青	5	青	4
2020 0708	74	3	青	青	青	青	青	赤	赤	青	青	青	青	青	強い	6.8	6.2	赤	青	35.4	35.9	青	45.24	24.72	7.23	21	青	7	青	4
2021 0426	75	8	青	赤	青	青	青	赤	赤	青	青	青	青	青	強い	6.4	6.2	赤	赤	34.7	27.7	青	44.35	24.80	6.76	25	青	7	赤	3

# 学ぶ (現状を知る) ・ 作戦を立てる (健康寿命の延伸) ・ 挑戦

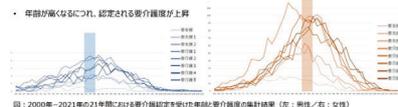
## 要介護認定と年齢の関係性の分析

- 男性は70代後半から要介護認定されるケースが多い
- 女性は70代後半から90代前半で要介護認定されるケースが多い
- 要介護認定時の年齢が幅広く分布しているのが特徴
- また、80代後半以降で要介護4・5に認定されるケースも多い

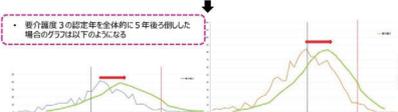
JARI 研究

## 要介護認定と年齢の関係性の分析

JARI 研究



図：2000年～2021年の21年間にわたり要介護認定を受けた年齢と要介護認定の集計結果 (男：左、女：右)



要介護度3の認定年を全体的に5年後ろ推した場合はグラフは以下のようになる

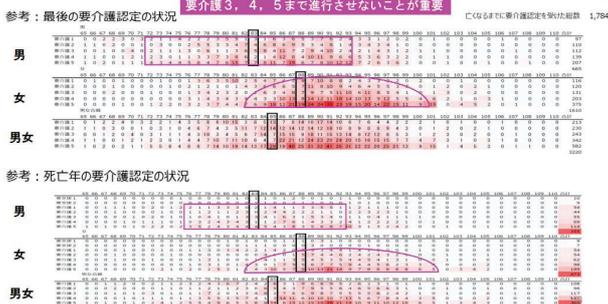
令和3年春、決まりました！ 『フレイル予防を基軸とした健康長寿のまちづくり』



## 要介護認定と年齢の関係性の分析

介護予防、健康長寿期にどう取り組むかが鍵となる

JARI 研究





フレイルチェック



フレイルチェック



フレイルチェック



共食 はじまりは綾ちゃん・ウメちゃんの山菜





お出かけ  
フレイル  
チェック  
北川村



フレイルチェック導入自治体への応援  
『フレイルサポーター養成研修』 岡山県美作市





## 大豊町 と 仁淀川町

ともに挑む“持続可能なまちづくり”



ともに挑む“持続可能なまちづくり”の仲間がお隣の県にも  
『那賀町・大豊町・仁淀川町フレイルポーター交流・勉強会』  
in 徳島県那賀町





**知事訪問**  
 ～シンポジウム出席依頼～  
**大豊町・南国市・  
 四万十市・仁淀川町**



**『人口減少下における持続可能なまちづくりシンポジウム』  
 5市町フレイルサポーター共同宣言**



民・民の交流は、瀬戸内海を超え

『チームひろしま』  
in 仁淀川町



民・民の交流は、豊後水道を渡り

『こうざき・仁淀川町  
第2回交流会』  
in 大分県大分市こうざき







1期生



2期生



3期生



4期生



5期生



6期生



7期生



8期生



希望はある！一歩前へ！みんなと一緒に！



9期生



10期生



11期生



12期生



13期生



14期生



15期生



16期生



17期生



18期生



挑戦は、まだまだ、続く♪



19期生



20期生



21期生

『フレイルサポーター』は“老いを諦めない”お仲間です



22期生



90歳超のスーパーシニアの軌跡



2023.4.24 ハツラッツ(10期生)卒業

そして、友則さんのバトンは、奥様へ  
2024.5.2 ハツラッツ(18期)卒業



ミカヨさんのバトンは、近所のひとり暮らしの友人・知人へ

バトンは、憲一郎さんから友則さんへ



2023.10.30 ハツラッツ(14期生)卒業



# 85歳超お誘い作戦スタート！

## ひとのためになる！

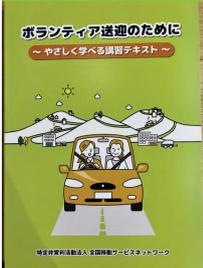
## 未来を創る！



### 次代につなぐ “ゆずゆず” 大作戦スタート



～“お出かけ”を諦めない(社会性の維持)～



## 【ショートレクチャー】

- i. 住民主体での質問・計測を通じたフレイル  
予防啓発活動

成田 慎一 氏

公益社団法人かながわ福祉サービス振興会  
共生社会推進部 部長



# 「住民主体によるフレイル予防のポピュレーションアプローチ に向けての新しい取組—住民主体での質問・計測を通じた フレイル予防啓発活動(神奈川県三浦市)」

かながわ福祉サービス振興会 上級フレイルトレーナー 成田 慎一

1

## I、フレイルチェックの取組に至る経緯：三浦市における実践事例



2

## 「超高齢化が先行して進む地域において何が必要か」(R6年 高齢化率41.6%)

---

平成26年当時、三浦市においては、市の介護予防事業以外に事業はほぼなかった

→試験的に始めた**三浦市社会福祉協議会**(以下、**三浦市社協**)が行う体操教室に、毎回大勢の高齢者が集まってくる

↓ 民生委員や**老人クラブ**等で直接宣伝する

徐々に口コミで、体操教室(名称を**サロン**に改め)が増えていく

3

## 地域住民の自分事として居場所が増えていく中で、担い手の育成(土台作り)

---

平成27年度から、**三浦市社協**が担い手「**介護予防インストラクター**」の育成を開始(市にある「介護予防サポーター」の応用編と位置づけ)

→初年度約50名誕生、その後2年で120名近くの人材を育成

↓

資格を活かせる場と合わせて、担い手のモチベーションを上げる仕掛けが必要となる

4

## 神奈川県との連携:「未病の改善」のための拠点を三浦市内に設ける

平成28年12月: 神奈川県の健康拠点である「未病センター」の認証

: 三浦市社協は行政区の3地区で認証(平成30年度完了)を受けたことで、身近な地域での健康づくりへのフォローが可能となった。その大きな武器は、「来所するセンター」ではなく「出張するセンター」として、専門職(看護師、理学療法士)が派遣される形態である。

→定期的なフォローも可能となり、コロナ禍においてもその強みを如何なく発揮することが出来た。現在においては、各地区のサロンを「未病サロン」(約30カ所)と命名し、継続して出張している。

5

## II、神奈川県のフレイル普及事業:フレイルチェックが三浦市に導入される

平成29年9月: 神奈川県のフレイルチェック普及事業を活用し、未病サロン等と連携して、三浦市がフレイルチェック事業に参加する

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
41件	158件	252件	102件	278件	303件	313件

6

## 令和5年4月：住民主体のフレイルチェックへ

三浦市において3圏域に分けて：フレイルサポーターのリーダー・サブリーダーの誕生

- ①フレイルチェックの申し込み（行政）⇒リーダーへ連絡⇒リーダーが担当地区のサポーターに連絡⇒行政へ日程・サポーター人数等の確定の連絡
- ②フレイルチェックの道具の受取⇒フレイルチェックの準備・実施⇒道具・データ返却
- ③振り返りシート作成⇒三浦市・フレイルトレーナーに提出
- ④練習会の企画⇒練習会の実施⇒練習会の振り返り提出
- ⑤各地区定例会（年間計画、イベント協力等）

7

## 第9期三浦市高齢者保健福祉計画・三浦市介護保険事業計画から

### 一般介護予防事業「介護予防普及啓発事業」

《現状と課題》 要介護状態の手前の状況にある方を早期に発見するための「フレイルチェック（心身の状況を確認できるアンケートや測定）」を中心に教室を開催し、またふれあいサロンなど地域の通いの場でも定期的な測定の場の提供を行い、多くの方が参加しました。平成29年度からは、フレイルトレーナー（講師）やフレイルサポーター（地域ボランティア）の育成の支援を行うことで、フレイルサポーターとして活動する方も増えてきて地域での活躍の場も増えてきています。市の主催する教室等に初めて参加するという方は少ないことから、介護予防に取り組む機会のない方やより積極的に取り組みたい方のために、高齢者の希望や状況にあった情報提供ができるような取組が必要です。

8

### Ⅲ、令和6年度：一体的実施事業におけるフレイル予防のポピュレーションアプローチに向けて

①フレイル予防教室の開始(月1回)②医師会との連携③近隣市町とのつながり構築

#### 【高齢者の保険事業と介護予防の一体的な実施(イメージ図)】



9

R6年10月～令和7年1月：後期高齢者の質問票を活用した住民主体での質問・計測を通じたフレイル予防啓発活動の試行(医療経済研究・社会保険福祉協会委託事業)

1. フレイル測定サポーター養成講座の試行

2. フレイル測定の試行

3. これからの展開

10

# 1. フレイル測定サポーター養成講座の試行

---

経過：令和6年9月13日三浦市フレイルサポーター養成講座後の  
フレイルサポーター交流会で成田と藤田三浦市高齢介護課  
長より、今回の試行モデル事業の主旨を説明。

(注)「一般介護予防事業」として位置付けることを前提とする。

→その場で養成講座の参加を募ると、**21名**の参加表明が  
あった

11

フレイル測定サポーター養成講座の試行：令和6年10月9日14:00～16:00 受講者24名

次第一1. 挨拶 成田、藤田三浦市高齢介護課長、医療経済研究・社会保険福祉協会神谷様

## 2. 養成講座全体の説明

---

- ①モデル事業とフレイルチェックの関係
  - ②導入
  - ③測定(15問の質問票に、指輪っかテスト、握力、身長、体重の実測測定が加わる)
  - ④まとめ
  - ⑤体操
  - ⑥質疑応答
3. 三浦市連絡事項の後、サポーター解散
  4. 三浦市との振り返りと今後の共有

12

試行当日の様子:フレイル測定サポーターによる15問の質問票の聞き取りや身長、体重測定については問題ないとの印象。測定後の全体まとめの説明は、ポイントを絞ることで特に不安は少なくなり、測定結果の回収は、原紙と並べてデータを転記することで、記載間違いを防いで行えることを確認。



13

## 2. ①フレイル測定の試行(第1回:R6.10.15於:個人宅サロン)

所感:こういった個人の自宅の場における測定のツールとして適しているだけでなく、小回りが利く。

参加者にもサポーターによるフレイル測定に対して特に違和感がなく、普及への期待が十分に持てた。



14

## ②フレイル測定の試行(第2回:R6.11.6於:診療所での教室)

所感:普段、体操を継続している教室で、当初は消極的だった参加者もフレイル測定会を終了すると「来てよかった」という発言に変わっていた。地域の高齢者にとって目新しいツールになるため、教室の有力なプログラムの一つになると感じた。



15

## 3. これからの展開

①イベントでの測定(三浦市民まつり)や老人会での測定(東岡区民会館)等のパターンで実施し、フレイル予防のポピュレーションアプローチの試行としての評価をしていきたい。

②タイプの異なる測定会場での実施により、この測定ツールによる結果をまとめていくことにより、従来の住民主体のフレイルチェックの良さを維持しつつ、様々な場所でよりきめ細かな普及が期待できると感じており、他市町村での通いの場における応用につながるよう導いていきたい。

16

# ご清聴ありがとうございました

---

## 1) かながわフレイルナビ

: 神奈川県フレイル予防の情報  
がわかりますので、

<https://frail.kanafuku.jp/>

是非、ご覧ください

## 2) フレイル予防

への問い合わせ

✉ naritas@kanafuku.jp

☎ 045-514-1182

担当: 成田



## 【ショートレクチャー】

ii. 「集いの場」等の住民主体の活動を通じた  
介護予防のまちづくり

田中 明美 氏  
生駒市 特命監

宿 美代子 氏  
わくわく教室 in 鹿ノ台 代表





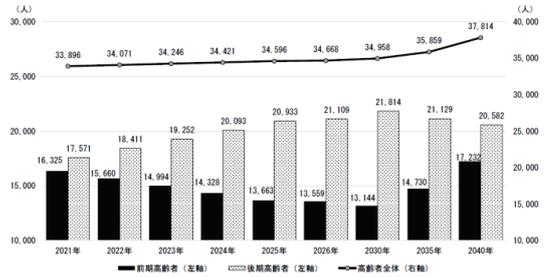
# 生駒市の高齢者現状

基本情報 (R6.4.1)	
人口	116,898人
第1号被保険者数	34,546人
65～74歳	14,579人
75歳以上	19,967人
高齢化率	29.6%
調整済認定率	14.1%

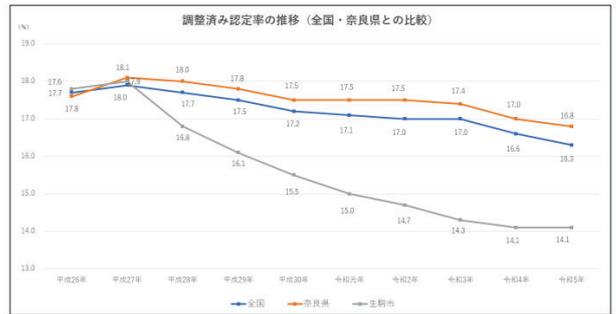
\*調整済認定率:令和5年3月 見える化システムより

- 日常生活圏域 10圏域
- 地域包括支援センター
  - ・基幹型包括地域包括支援センター
    - 直営:地域包括ケア推進課内
  - ・地域包括支援センター:委託で7カ所
    - 医療法人(2) 一般財団法人(2) 社福法人(2) 社協(1)
- 人員配置:包括職員+第2層SC(専従:1名)+認知症地域支援推進員(専従:1名)

前期高齢者人口および後期高齢者人口の推計

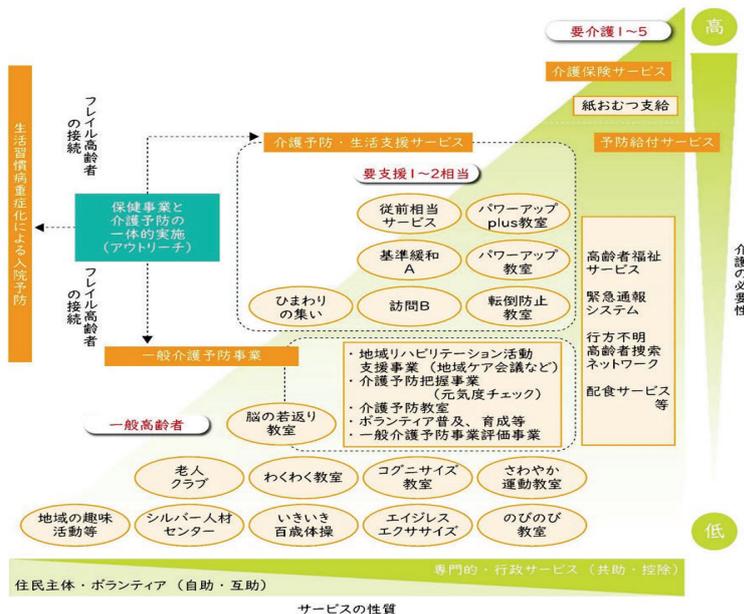


調整済み認定率の推移(全国・奈良県・生駒市)



# 生駒市の介護予防事業について

～自立支援・重度化防止～



**生駒市介護予防・自立支援・重度化防止の全体像**

縦軸では介護の必要性を「高」～「低」表現し、横軸ではサービスの性質として、住民全体・ボランティアの取組み(自助・互助)と専門的・行政サービス(共助・公助)に分けて事業を整理しています。それぞれの状態に応じた多くの事業を用意し、「介護予防・自立支援・重度化防止」に向けた取組みをさらに推進していきます。

## 生駒市における住民主体の介護予防活動を写真で一部ご紹介



高齢者サロン



わくわく教室



エイズレスエクササイズ教室



いきいき100歳体操



地域型のびのび教室



ひまわりの集い



脳の若返り教室



コグニサイズ教室



「食」を通じて、楽しいと

感じられる活動に」

生駒市健康づくり推進員連絡協議会

## 生駒市健康づくり推進員連絡協議会

生駒市内で“食”を通じて皆さんに元気になっていただけるような活動をしています。

### ひまわりの集い

同じこもりがちな65歳以上の方の生活意欲の向上のため、レクリエーションや手作りの食事を提供することによって、外出の機会を増やし、体力・気力の向上を目指しています。椅子に座ってできる簡単な体操をしながら、身体をほくします。自宅でもできる簡単なものを紹介し、介護予防に努めています。昭和59年、生駒市健康教室リーダー養成講座の終了生で構成された会で40名で発足。おとなりさんから、お向かいさんへ「健康づくりの輪を広げる」という活動を続ける。男女関係なく活躍中。



### 運営者の声

「楽しいね」「楽しいな」と感じてもらえる・感じられる活動に力を入れています。常に住民目線で考える。開催している私たちも元気をもらい、やりがいを感じられる活動を目指しています。

### 参加者の声

ここで知り合った方とまちでたまに会って、話を「ちよっとお茶でもしましょうか」となるのも嬉しい。ここは特別に楽しい。来て、皆と楽しくお喋りすると生き返る!



## フレイル予防の対策を進めるために・・・

### ステップ1

市と老人クラブでフレイル予防に関する協議を開始  
市と協働で介護予防リーダー研修を開催  
通いの場づくりへの賛同者を増やす



### ステップ2

いきいき100歳体操を各地に展開。  
老人クラブが最前線に立ち、通いの場を立ち上げる



### ステップ3

開催場所が増え、利用者実人数が1,000人を超えたことを機に  
「いきいき100歳 1,000人大会」を市の中央部で開催。  
120人の市内事業所ボランティアが集合。  
市内事業所の協力を得て、すべての通いの場に送迎車が走り、全員集合！  
この勢いをみんなで共有！



## まちの駅の取組み（一部紹介）

### 1 ごみ出し×交流

#### ① 萩の台住宅地自治会 (令和2年度～)



ごみ回収を実施し、カフェ、移動販売、健康教室などを複合化することで、住民が自治会館を訪れるきっかけを作っている。

#### ② ひかりが丘自治会 (令和2年度～)



ごみ回収する場を中心に、カフェや不用品交換コーナー、子ども向け漫画図書館を併設。さらに健康教室やキッチンカーも。

#### ③ 獅子ヶ丘自治会 (令和5年度～)



資源ごみ回収ステーションと図書室サービスを中心に、本のおはなし会を開催。日曜日には健康体操やサロンを定期開催。

### 2 カフェ×交流

#### ④ 東葉畑1丁目自治会 (令和5年度～)



地域の親子がボランティアとして運営するカフェ、不用品のバザーを同時開催。子どもプール大会など。

#### ⑤ 小瀬町自治会 (令和5年度～)



週に1回程度開催されるカフェに、カラオケや健康麻雀、卓球などを組み合わせて誰もが自由に参加できる空間を作り上げている。

#### ⑥ 獅子ヶ丘自治会 (令和5年度～)



陶芸教室などの講座やリユース促進事業を、自治会が所有する空き地などの屋外ではマルシェやキャンプなど。すべての事業にカフェ併設。

### 3 買い物×交流

#### ⑦ ローレルコート萩の台自治会 (令和2年度～)



自治会館と前の広場を整備し、地元野菜の移動販売や住民が育てた野菜の無人交換機の設置等を実施。「にぎわい屋台」(露店)活動もスタート。

#### ⑧ 白庭台自治会 (令和4年度～)



子育て世帯が集える環境づくりとして、集会所に幼児向けのフレイルームを開設。定期的な野菜の販売や近隣公園へのキッチンカーの呼び込み等。

#### ⑨ 生駒台自治会 (令和5年度～)



「遊ぶ」「食べる」「買う」の3要素を中心に自治会館を整備。自治会館の中では卓球やおもちゃで遊ぶ、外では事業者の移動販売やバザーを実施。

### 4 その他（サロン・図書・農園）×交流

#### ⑩ 鹿ノ台北1丁目～3丁目自治会 (令和2年度～)



サロンとして部屋を開放し、健康体操や健康マージャンを実施。土日にも自由な集いの場としてオープン。

#### ⑪ さつき台南自治会 (令和2年度～)



本館を設置し、住民から本の寄贈を募り集会所に図書室を開設。簡易なカフェも併設し、健康体操や健康マージャンなど。

#### ⑫ 北小平尾自治会 (令和3年度～)



耕作放棄地を開墾し、畑を基軸として各種イベントを定期開催（収穫祭や小屋づくり等のDIY、朝市など）。

## 住民主体の介護予防に関する取組の変遷

### 住民主体・地域運営の《通いの場》が徐々に増加

平成14年		平成24年		平成27年		平成29年		令和5年	
教室名	数	教室名	数	教室名	数	教室名	数	教室名	数
わくわく教室	5	わくわく教室	9	わくわく教室	9	わくわく教室	9	わくわく教室	9
高齢者サロン	8	地域型のびのび	23	地域型のびのび	23	地域型のびのび	26	地域型のびのび	24
		脳の若返り教室	14	脳の若返り教室	14	脳の若返り教室	14	脳の若返り教室	12
		高齢者サロン	35	高齢者サロン	40	高齢者サロン	45	高齢者サロン	47
		ひまわりの集い	1	ひまわりの集い	2	ひまわりの集い	2	ひまわりの集い	2
		いきいき百歳体操	2	いきいき百歳体操	2	いきいき百歳体操	56	いきいき百歳体操	101
						コグニサイズ教室	2	コグニサイズ教室	2
						認知症カフェ	2	認知症カフェ	2
						まちの駅	1	まちの駅	14
						地域型ひまわり	10	地域型ひまわり	10
						エイジレス エクササイズ	1	エイジレス エクササイズ	3
合計	13	合計	49	合計	90	合計	168	合計	226

## 住民主体の介護予防活動内容

	教室名	内 容
①	わくわく教室	住民主体の通いの場(軽体操・季節の行事・脳トレ・茶話会等)
②	地域型のびのび教室	住民主体の活動の場に健康運動指導士を派遣し、運動・対話を充実(各地域の自治会館などで実施)
③	脳の若返り教室	住民ボランティアが中心に、くもん教材による学習支援→脳の活性化
④	コグニサイズ教室	住民ボランティアが中心に、脳トレをしながら同時に体操を実施
⑤	エイジレス エクササイズ	一般介護予防事業で「エイジレスエクササイズ」を体験した卒業生が自主グループを結成し、会費を集めて健康運動指導士を招き、展開
⑥	いきいき百歳体操	住民主体の通いの場「いきいき100歳体操+α」(1回/週)
⑦	まちの駅	自治会が中心となり、多世代で介護予防を含めた居場所・参加・買い物・移動・ごみの分別・リユース・地域食堂など多様な活動を展開
⑧	高齢者サロン	老人クラブや民生委員、自治会が中心となり住民主体のサロンを運営
⑨	ひまわりの集い	住民主体のミニデイサービス(脳トレ・軽体操・川柳・会食・その他)
⑩	地域型ひまわりの集い	高齢者サロンに赴き、出前で「簡単な食事づくり・会食」を展開
⑪	認知症カフェ	認知症の当事者及び家族や地域の多世代が集う場

## 『はじまりは 介護予防ボランティア講座』 心が動けば体が動く！

平成11年、翌年から介護保険が始まる・・・というその時に、市が「介護予防ボランティア講座」を展開！  
「介護予防って、何?」「介護を予防するってどういうこと?」  
聴きなれない言葉に関心を抱いた50代、60代の方々がこぞって参加・・・確か、100名近く参加。

団塊の世代が多い生駒市においては、「介護予防」と「地域のネットワークづくり」これを2本の柱として今後、  
高齢者の政策を進めていきたいと考えています！皆さんの力が必要なのです！・・・と冒頭から球がなげられた。



趣味活動や生涯学習的なものは市内にもたくさん存在したが、住民主体の通いの場は、目新しい時代でした！

## 『わくわく教室の活動をご紹介』 心が動けば体が動く！



『わくわく教室の活動をご紹介します』  
心が動けば体が動く！



参加者の最高年齢  
106歳！



まだまだやりたいこと  
たくさんあるのよ！

わくわく教室に  
参加し続けるために、  
元気がないといけないから、  
よく食べて、よく動いて、  
そしていろんな人と会話を楽しむために  
お口のことも栄養のことも  
体づくりも認知症予防も  
全部楽しみながらしているのよ！

『わくわく教室の活動をご紹介します』  
心が動けば体が動く！

No.	質問項目	回答 (いずれかに○をお付け下さい)	事業対象者に該当する基準
1	バスや電車一人で外出していますか	0.はい 1.いいえ	□ 1.0 項目以上に該当
2	日用品の買物をしていますか	0.はい 1.いいえ	
3	貯貯金の出入れをしていますか	0.はい 1.いいえ	
4	友人の家を訪ねていますか	0.はい 1.いいえ	□ 2項目以上に該当
5	家族や友人の相談にのっていますか	0.はい 1.いいえ	
6	階段をすすりや壁をつたわらずに昇っていますか	0.はい 1.いいえ	
7	椅子に座った状態から立ち上がり立ち上がり	0.はい 1.いいえ	(運動機能)
8	1.5分休憩して歩いていますか	0.はい 1.いいえ	□ 3項目以上に該当
9	この1年間に転んだことがありますか	1.はい 0.いいえ	(栄養状態)
10	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい 0.いいえ	
11	6か月間で2〜3kg以上の体重減少がありましたか	1.はい 0.いいえ	
12	BMIが18.5未満である (BMI) 身長×体重kg (BMI)	1.はい 0.いいえ	□ 2項目に該当
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい 0.いいえ	(口腔機能)
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい 0.いいえ	□ 2項目以上に該当
15	口の渇きが頻りになりますか	1.はい 0.いいえ	
16	週に1回以上は外出していますか	0.はい 1.いいえ	
17	昨年と比べて外出の回数が増えていますか	1.はい 0.いいえ	(閉じこもり) □ 1回に該当
18	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると聞かれますか	1.はい 0.いいえ	(認知機能) □ 1項目以上に該当
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけるをしていますか	0.はい 1.いいえ	(ここら、うつ) □ 2項目以上に該当
20	今日何月何日かわからない場合があります	1.はい 0.いいえ	
21	(ここら2週間) 毎日の生活に充実感がない	1.はい 0.いいえ	
22	(ここら2週間) これまでしんでやられていたことが案外なくなった	1.はい 0.いいえ	(ここら、うつ) □ 2項目以上に該当
23	(ここら2週間) 以前は案じてきていたことが今ではおっくうに感じられる	1.はい 0.いいえ	
24	(ここら2週間) 自分が例になつて人間だと思えない	1.はい 0.いいえ	
25	(ここら2週間) わけもなく震れたような感じがする	1.はい 0.いいえ	

わくわく教室は、月に5,000円 市から補助をいただいています！  
その代わりに高齢者の生活機能低下を早期に発見できるように  
年に1度必ず、体力測定の実施を行っています。

体力測定は、握力・アップ&ゴー(または5m歩行)・開眼片足立ちを実施しています。  
結果は、市に届け、フォローが必要な人は事業につなぐことも可能です。

基本  
チェックリスト  
の実施



わくわく教室in鹿ノ台の  
体力測定結果(平均)

	R4	R5
TUG	10.43	8.53
握力	20.58	21.18

TUG 1.9秒  
握力 0.6kg

改善！

## 『高齢者の保健事業と介護予防事業の 一体的実施』として専門職とコラボ

《ポピュレーションアプローチ》

市の国保医療課(管理栄養士+保健師)

→後期高齢者の質問票

体組成・骨密度測定&ミニ講座(フレイル予防)



保健師



管理栄養士

ミニ講座は  
運動実践や  
フレイル予防に  
関することも♪



認知症や障がいの有無に限らず  
子どもからお年寄りまで誰もが集える場所

## CAFE わっか



この看板が目印!



スマホ教室や、季節ごとのイベント  
(ハンドベルサークルによる演奏会やハロウィンなど)  
も開催しています!

来て話して、食べて飲んで楽しく過ごして  
もらいたいと思ってやっています。  
ボランティアも高齢化!  
引き継いでくださる方々を大募集中です。



日時  
場所

毎月第2水曜日  
13:00~14:30  
あすか野北2丁目12-13  
あすか野介護予防拠点施設

問合せ先

メディカル北  
地域包括支援センター  
TEL 0743-71-3522

建物の外観



周辺地図



**ご清聴ありがとうございました!**



## 【ショートレクチャー】

### iii. 企業によるフレイル予防の推進と認証事業 の試み

乾 裕之 氏

イオン株式会社 生活圏推進チーム



# フレイル予防の推進と認証事業の試み

産官学民連携によるフレイル予防のポピュレーションアプローチ

2024年11月22日(金)

イオン株式会社

生活圏推進チーム

乾 裕之

1

フレイル予防推進会議 産業部会メンバー(11社)

AEON

kewpie 

 マルタマフーズグループ

 伊藤ハム

 ニチレイフーズ

NISSHIN  
Oillio  
"植物のチカラ"

 nissui

Hagoromo  
ほごろもフーズ

おいしさ、けんこう、  
つぎつぎ、わくわく。))  
 フジッコ

meiji

お口の恋人  
LOTTE

[フレイル予防推進会議 構成員 (五十音順)]

イオン(株)、伊藤ハム(株)、キューピー(株)、(株)ニチレイフーズ、日清オイリオグループ(株)、(株)ニッスイ  
はごろもフーズ(株)、フジッコ(株)、(株)マルタマフーズ、(株)明治、(株)ロッテ

2

# お客さまを原点に平和を追求し、 人間を尊重し、 地域社会に貢献する。

イオンは、小売業が平和産業であり、人間産業であり、地域産業であると信じ、その使命を果たす企業集団として永続するために、お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。

[イオンの基本理念](#) | [企業情報](#) | [イオン株式会社 \(aeon.info\)](#)

3

---

## フレイル予防普及啓発のためのイオンの取組み

---

### I. フレイル予防の風土をつくる

- ① 従業員に「フレイル」を学んでもらう
- ② お客さまに「フレイル」を知ってもらう

### II. 組織的に取り組む

- ① 通常の営業活動を通じて啓発を実施する
- ② 行政、市民、大学、お取引先とグループ各社で連携して、フレイル予防を推進する

### III. 包括的に取り組む

- ① フレイルチェックができる体験イベントなどを通じて、気づきの機会を提供
- ② 栄養(食事・口腔)・身体活動・社会参加に関わる商品・サービスの準備

4

## 啓発内容のこれまでの参照元

「フレイル予防のポピュレーションアプローチに関する声明と提言」および「食べて元気にフレイル予防」を参照し、一貫したメッセージで啓発を実施。



フレイル予防啓発に関する有識者委員会、2022年



厚生労働省、食事摂取基準を活用した高齢者のフレイル予防事業

5

## 従業員にフレイル予防を学んでもらう

教育動画配信の他、秦野店(秦野市)や久里浜店(横須賀市)では店舗企画で勉強会を実施した。



飯島機構長メッセージやアニメを活用した教育動画



イオン秦野店(zoom勉強会)



イオン久里浜店



イオン久里浜店

6

## お客さまにフレイル予防を知ってもらう | 地域連携による啓発イベント実施

お買い物ついでに立ち寄っていただき、より幅広い地域住民への啓発を実施。

### ① 自身のフレイル状態について知ることができる

- ・簡易フレイルチェック(質問票・指輪っかテスト)
- ・口腔機能チェック(パタカテスト)
- ・握力チェック

### ② フレイル予防のための情報を知ることができる

- ・フレイル予防のための食事の知識
- ・レシピ紹介

### ③ フレイルサポーターさまの地域活動の場



パタカチェックや握力など、体験型コンテンツが好評



「食べて元気にフレイル予防」を活用



地域ボランティアである「フレイルサポーター」の参画

7

## お客さまにフレイル予防を知ってもらう | 地域連携啓発イベントと食提案

フレイル予防訴求方法の検討および実現性検証のため、売場での献立・レシピ提案の実証実験を実施。



フレイルサポーターさまによる質問票



ヘルスメイトさまによる食相談



イオンくみ浜店イベント全景



メーカーさまのオーラルフレイル啓発



売場でのレシピ展開(IOG実証実験)

8

## ウエルカフェ:地域協働コミュニティスペース

ウエルシア薬局併設の「休息の場」・「井戸端会議の場」

地域社会の諸課題を解決する場＝**地域協働コミュニティスペース**であり、全国に400カ所以上。



9

## ウエルカフェ

まちの多様な団体様にご活用いただいている。結果的にフレイル予防に貢献することも可能。



10

## フレイル予防に資する「食提案」の課題と対応方針

- フレイル予防は栄養(食・口腔)・身体活動・社会参加の3つの柱が3つとも重要であるが、特に栄養は人間が生きていくための原点である食は重要な領域。
- **ただし、特に「食」においてはコンプライアンスの課題をクリアするため、社会通念の形成から必要である。**

### ① フレイル予防のポピュレーションアプローチの概念を全国に広める

1. 有識者委員会の「フレイル予防のポピュレーションアプローチに関する声明と提言」に準拠
2. フレイル予防推進会議における、1.に準拠した啓発パンフレットの普及
3. フレイル認知率向上を目指すため、地域や行政のみならずと協力した体制と活動

### ② 「企業活動」の要件を整理する＝ガイドライン策定と民間自主認証事業

1. フレイル予防啓発に合わせ、**根拠に基づいて企業が堂々と商品・サービスの訴求ができる基準を明らかにする。**
2. 経産省「ヘルスケアサービスガイドライン等のあり方」に則った業界自主ガイドライン(認証制度を含む)を策定する。
3. 実証実験にて実効性と実現性を確認していく。

11

## 民間自主認証事業についての検討状況

### I. 経過

これまで東京大学高齢社会総合研究機構との共同研究体制(食の在り方研究会)の下で行ってきた下記の検討を、フレイル予防推進会議の下での産業部会の活動に活かし、民間自主認証事業の導入を目指すこととしている。

1. 栄養(食事・口腔)、身体活動、社会参加の包括的なフレイル予防の取り組みの啓発を行うことを基本前提とする。
2. フレイル予防に資するエビデンスを満たす業態の基準を作成し、認証する(現在四つの業態を検討中)。
3. 業界団体(フレイル予防サービス振興会(仮称))の下で認証事業を運営する。
4. 先ず栄養に着目した業界自主ガイドライン(A業態)を策定し、認証事業を導入し、順次分野の拡大を目指す。

### II. 検討中4つの業態

- A) **小売業と食品製造業**が緊密に連携し、三本柱のフレイル予防の啓発を行いつつ、栄養に関するエビデンスを満たした食事に資する食品(好ましい食事の組み合わせを推奨したレシピを含む)を**販売**するA業態
- B) 三本柱のフレイル予防の啓発を行いつつ、フレイル予防に資するエビデンスを満たした**食事の提供等を行う**B業態(当面、栄養の柱を起点とする共食支援サービスの業態の開発を検討し、次は運動の柱を起点とするサービスの業態に取り組む方針)
- C) 三本柱のフレイル予防の啓発を行うことを前提とするフレイル予防に資するサービスの開発に関する**コンサルテーション**を行うC業態
- D) フレイル及びフレイルに関連する**諸データの収集、解析**等を行うことにより、フレイル予防を促進する情報サービスを提供するD業態

12

## 【ショートレクチャー】

- iv. フレイル予防ポピュレーションアプローチ  
推進のための情報システムの開発に向けて

岡本 茂雄 氏

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
招聘研究員



# フレイル予防ポピュレーション アプローチ推進のための 情報システム開発に向けて

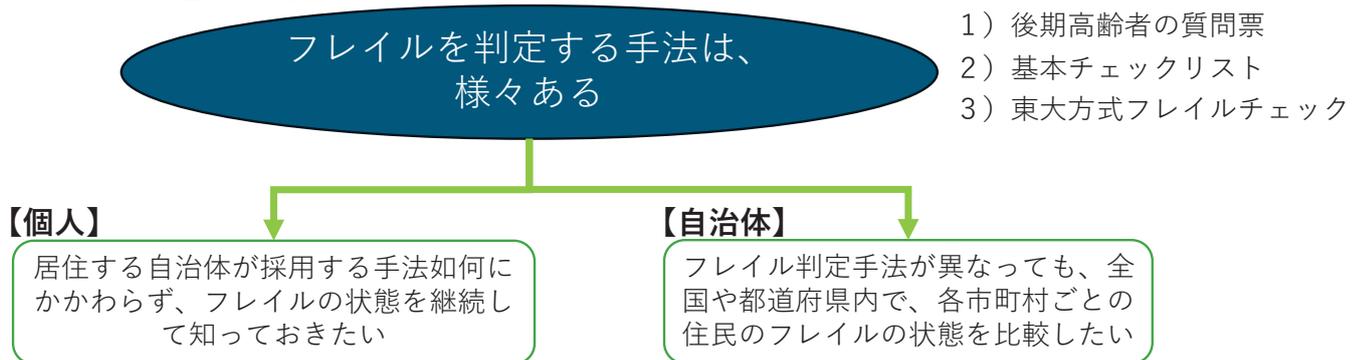
2024年11月22日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

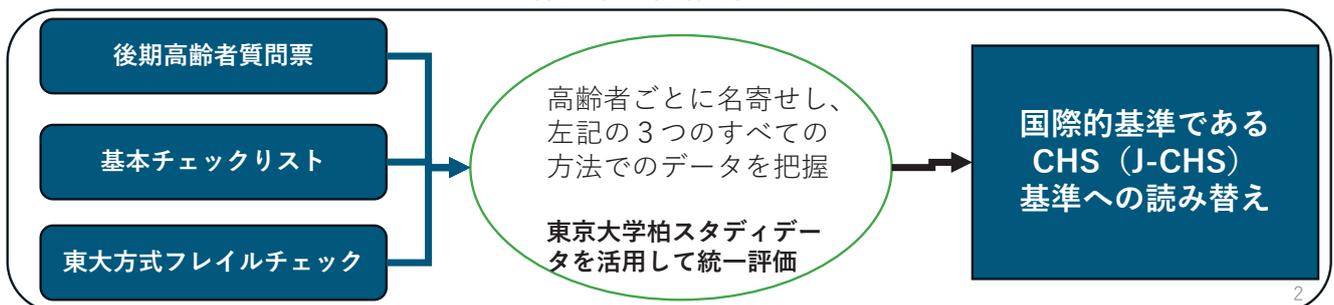
岡本 茂雄

1

## システム開発の背景：A

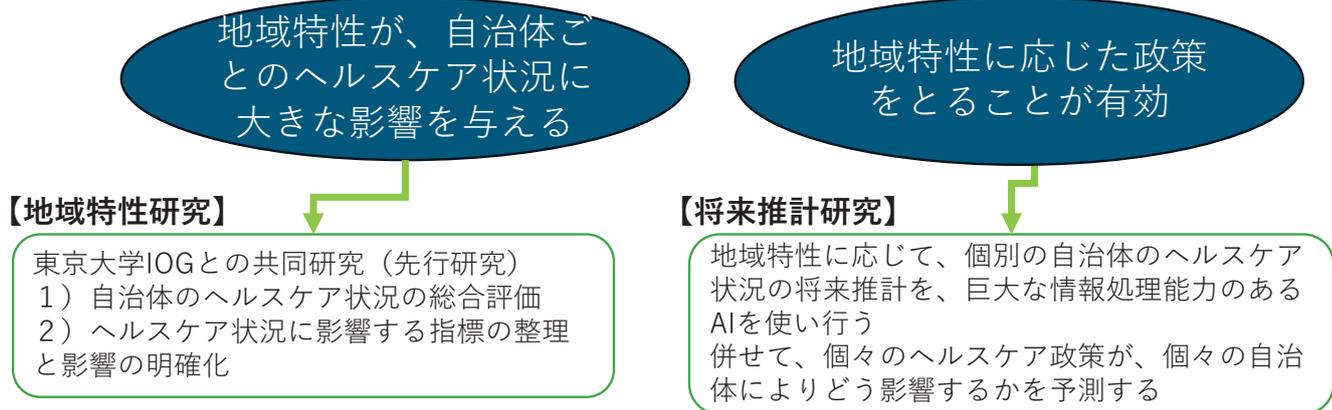


## 解決策の技術的基盤

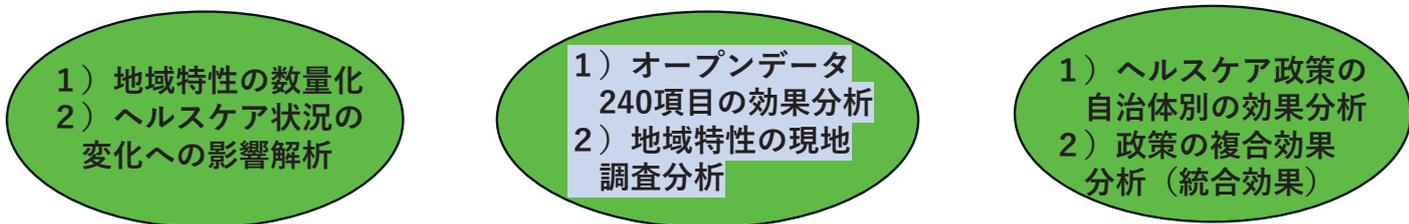


2

# システム開発の背景：B

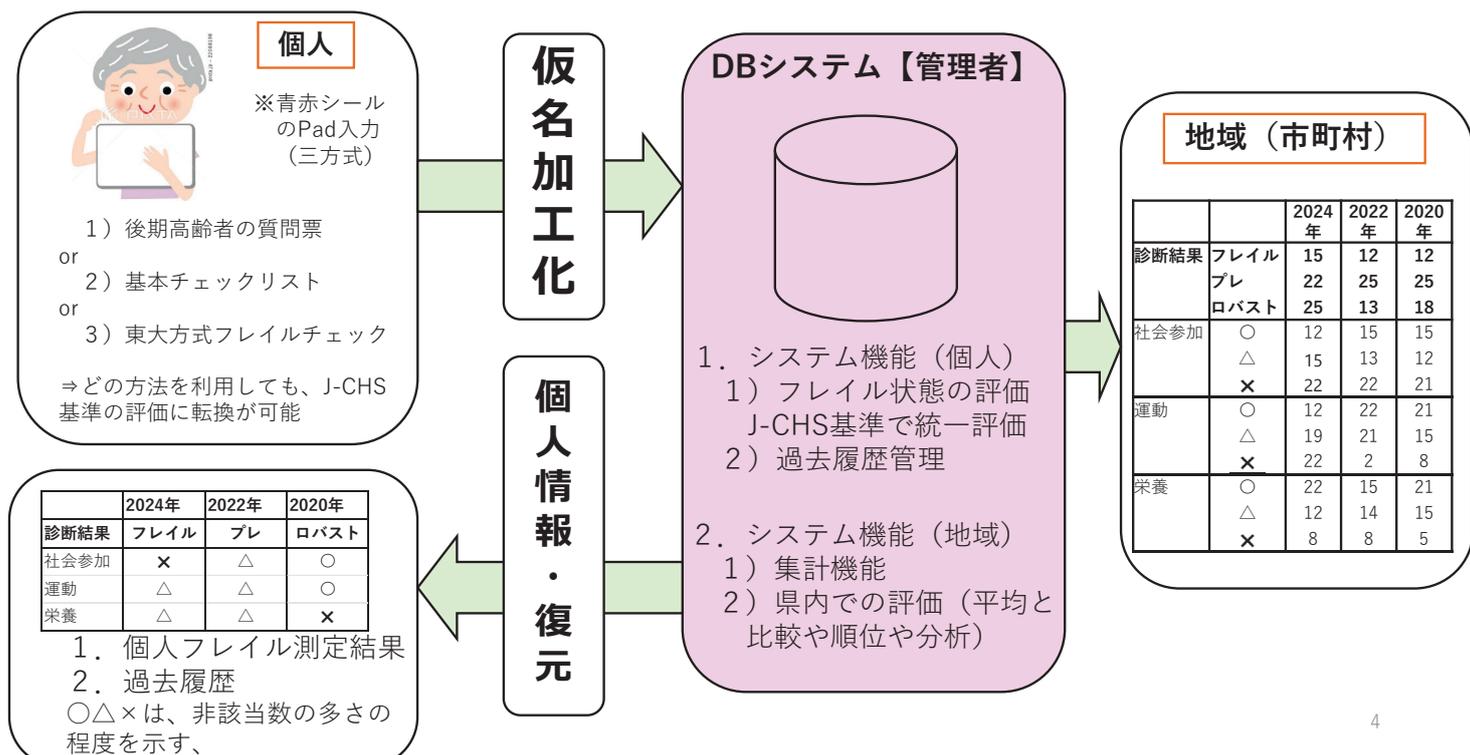


## 解決策の技術的基盤



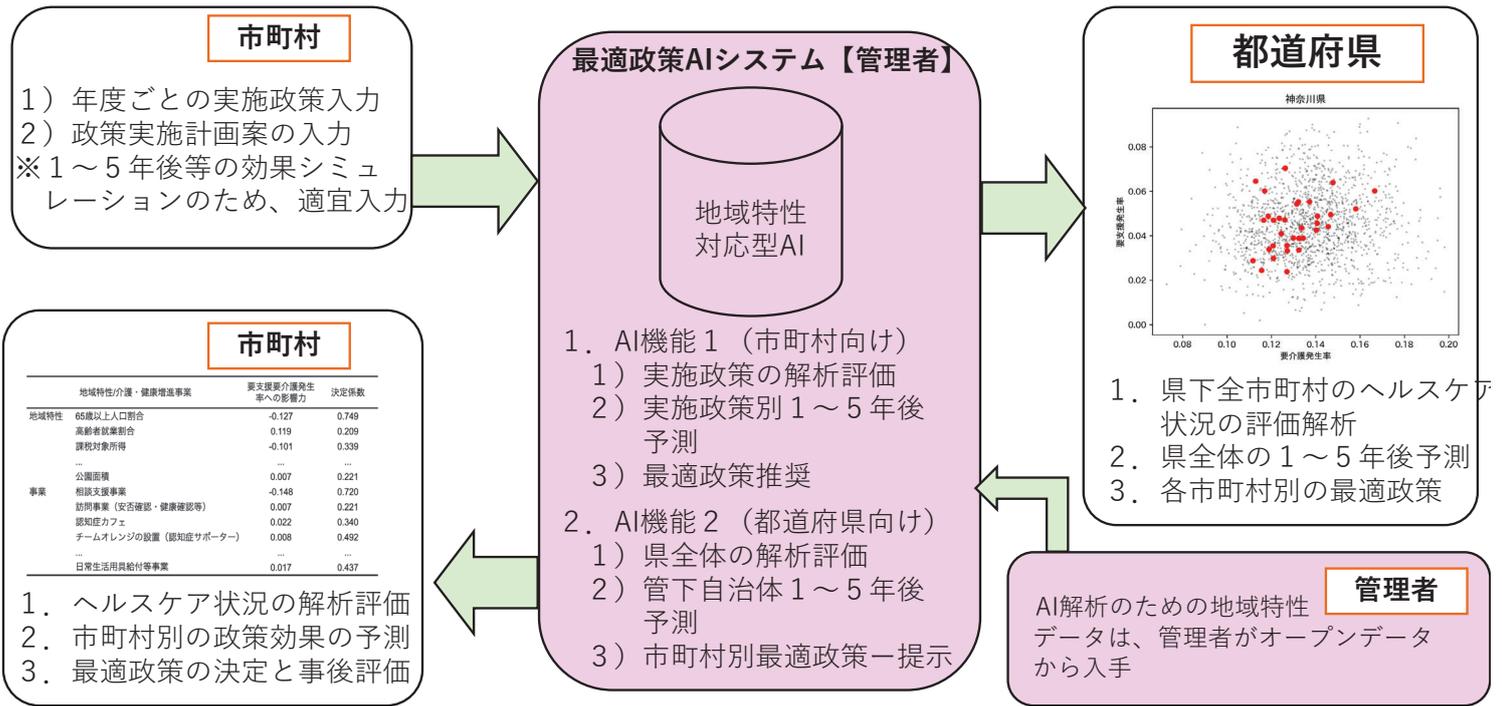
3

## Aシステムのイメージ・フレイルデータ管理システム（第一次）（第二次では、将来予測を追加）



4

## Bシステムのイメージ・最適政策AIシステム（将来的には、生活圏域単位での予測を目指す）



5

## A I 設計のためのデータ分析工程 ⇒ 要介護率の増加への影響

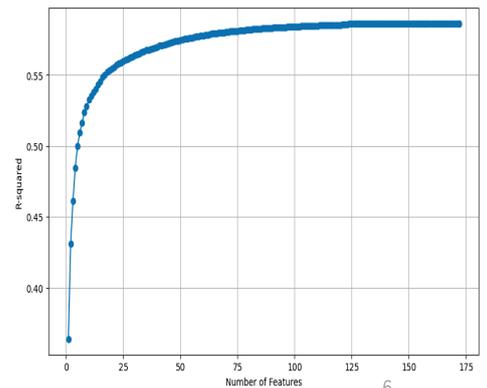
例：重回帰分析—変数増加法

変数名	ヒートマップ	回帰係数(x=上位25)
要介護認定率	-0.44	-0.494654
糖尿病65歳以上	-0.36	-0.034242
75歳以上人口	0.03	0.166599
要支援認定率	0.00	0.104168
訪問看護ステーション数	-0.35	-0.113287
その他の神経の病気（神経痛・麻痺等）65歳以上	0.11	0.036726
健康増進（栄養指導）被指導延人員	0.28	0.104553
訪問介護事業所数	-0.15	-0.067063
労働力人口（国勢調査）	0.12	-0.117075
高血圧症65歳以上	-0.35	-0.174570
骨粗しょう症65歳以上	-0.22	0.072692
慢性閉塞性肺疾患（COPD）65歳以上	-0.06	-0.049515
一人当たりの医療費	-0.14	0.182008
一般診療所数（可住地面積100km <sup>2</sup> 当たり）	-0.01	0.067177
アレルギー性鼻炎65歳以上	-0.25	-0.167552
介護老人福祉施設数（詳細票）（65歳以上人口10万人当たり）	-0.13	-0.120751
胃・十二指腸の病気65歳以上	0.17	0.051377
居宅介護支援事業所数	-0.12	0.123765
降水量（年間）	0.00	-0.071448
健康診断受診者数（市町村実施分）	0.06	-0.036621

次のステップ：

- 1) 因果律モデルの推定
  - 2) 説明変数の選択
  - 3) AIアルゴリズムの設計
- ☆ 強化学習

例：決定係数の上昇曲線

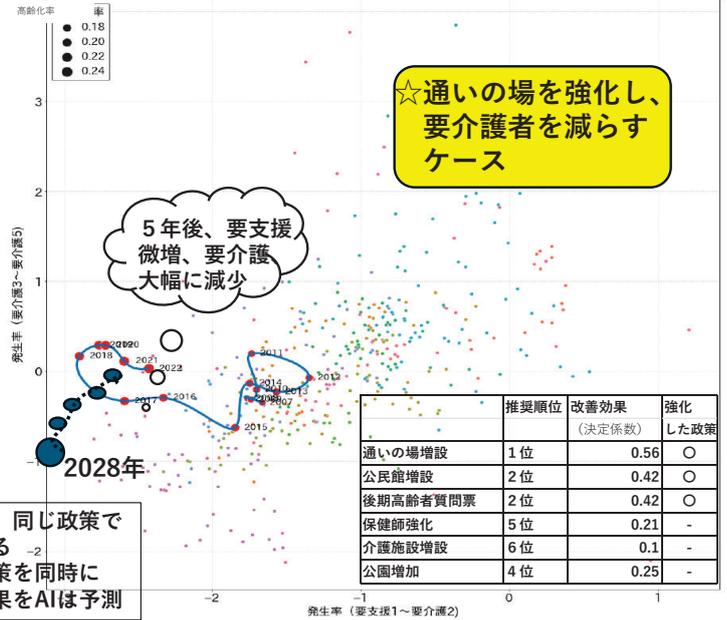
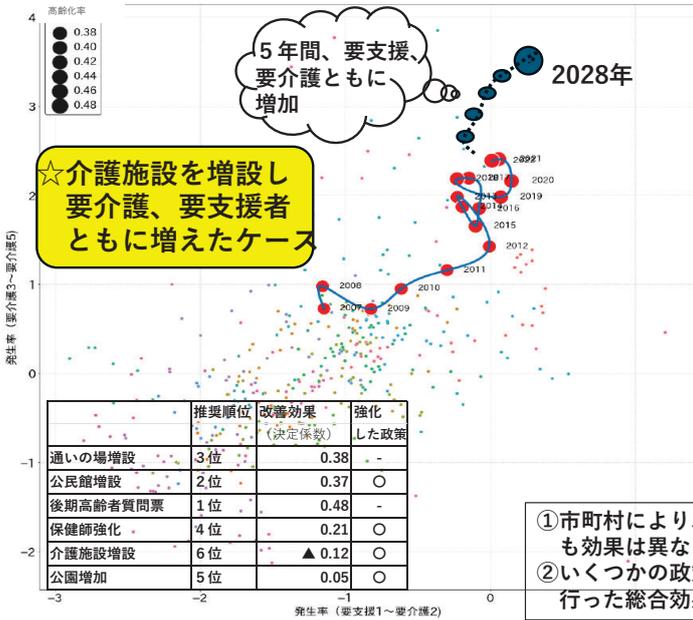


6

# 市町村の地域特性に応じたAIを活用した過去の分析結果と政策効果予測 (最適政策実施5年後)のモデル的なイメージ

A自治体：要支援者、要介護者ともに増加

B自治体：要支援者は増加するも、要介護者は増えない



①市町村により、同じ政策でも効果は異なる  
②いくつかの政策を同時に行った総合効果をAIは予測

## 市町村が利用する画面イメージ (仮)

要支援/要介護認定率のこれまでの推移と5年後の予測値

**現在計画している政策**

- 体操教室
- 移動支援事業
- フレイルチェック

**最適政策**

- 認知症カフェ
- 体操教室
- 認知機能トレーニング
- 介護予防ボランティア
- 認知症サポーター育成
- 配食サービス

**検討用1**

計算

**要介護認定率に影響の大きい地域特性**

**要支援認定率に影響の大きい地域特性**

**選択中の政策 [最適政策]**

**要介護認定率に影響の大きい政策**

**要支援認定率に影響の大きい政策**

# A,Bシステム採用の意義

## 【Aシステム】

フレイルチェックの手法が市町村間で異なっても、比較と解析が可能

⇒各市町村間でのフレイル状況の比較が可能

フレイルチェックの手法が市町村間で異なっても、比較と解析が可能

⇒都道府県の立場からも、Bシステムとあわせて助言が容易に

第二次システムでは、フレイル予防のために、個人へのお勧め生活の提示機能が追加

## 【Bシステム】

地域特性別に、過去どんな政策が効果があったか確認できる

⇒自治体職員の効力感の向上

※各自治体の政策データも用いて評価と解析

都道府県・市町村の地域特性に応じた効果的な政策の検討が可能

⇒ 1) 自治体ごとに有効政策は異なる

2) 将来予測に基づいた政策検討が可能









